



2013年12月期 第3四半期 決算説明会

2013年 12月 6日
株式会社 SUMCO
(コード番号:3436)

For All Innovation

1

見通しに関する注意事項



本資料は一般の株主及び投資家に対する情報提供を目的に作成されたものであり、いかなる法域においても、当社が発行する証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、本日現在当社が利用可能な情報及び一定の前提又は仮定に基づくものであり、実際の業績等は、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報と大きく異なる可能性があります。



- 市場環境
- 半導体・ウエーハの市場環境と技術動向
- 2013年度第3四半期 決算概要(連結)
 1. 2013年度第3四半期 業績
 2. 営業利益増減分析
 3. バランス・シート
 4. キャッシュ・フロー
- 2013年度 通期業績予想(連結)
 1. 2013年度 通期業績予想
- 参考資料



市場環境

取締役社長 橋本 眞幸

■ 2013年度業績予想(連結)

(金額単位:億円)	2013年度	2013年度修正予想			増減
	従来予想 (9/6)	3Q累計 実績 (9ヶ月)	4Q 予想 (2ヶ月)	計 (11ヶ月)	
売上高	1,800	1,473	357	1,830	+30
営業利益	150	155	15	170	+20
経常利益	50	56	4	60	+10
純利益	5	3	2	5	0

■ 第3四半期の市場環境

(メモリー)

✓ 一部顧客の火災事故があったものの、メモリーは好調に推移

(ロジック他)

✓ タブレットは伸張

✓ パソコンは引き続き減速

✓ スマホはハイエンド品からローエンド品へのシフト

⇒ファウンドリーの生産調整の影響を受けた

■ 2013年度第4四半期以降の見通し

✓ 調整局面は継続

✓ ファウンドリービジネスは来年2Qには回復の見込み

半導体・ウェーハの市場環境と技術動向

For All Innovation

7

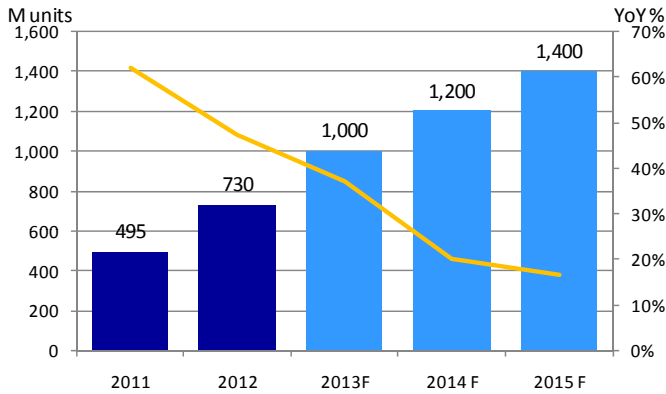
主要電子機器 — 需要見通し (コンピューティングとコミュニケーションの主役交代)

■ Hardware Unit Shipment Forecasts (M units)

	2011	2012	2013 F	2014 F	2015 F
Personal Computer	372	349	315	310	310
YoY%	5%	▲6%	▲10%	▲2%	0%
Tablet	72	145	225	300	350
YoY%	242%	101%	55%	33%	17%
Mobile Phone	1,715	1,740	1,800	1,835	1,900
YoY%	8%	1%	3%	2%	4%
Feature Phone	1,220	1,010	800	635	500
YoY%	▲5%	▲17%	▲21%	▲21%	▲21%
Smartphone	495	730	1,000	1,200	1,400
YoY%	62%	47%	37%	20%	17%

For All Innovation

Smartphone:ハイエンドとローエンドの境界消失へ = ウェーハ消費量は平準化し台数に比例し伸張 =



2013年

- ・先進国は、買換え需要サイクルへ
- ・新興国・途上国は、ローエンド品の需要が急拡大

2014年

- ・新興国・途上国の需要拡大継続
- ・機能競争と低価格化へ

スペック

Supplier	Korea	China		
		A	B	C
CPU Core	2	2	4	4
Panel size	4"	4.5"	4.5"	4.5"
CNY	699	699	799	766
USD	114	114	131	125

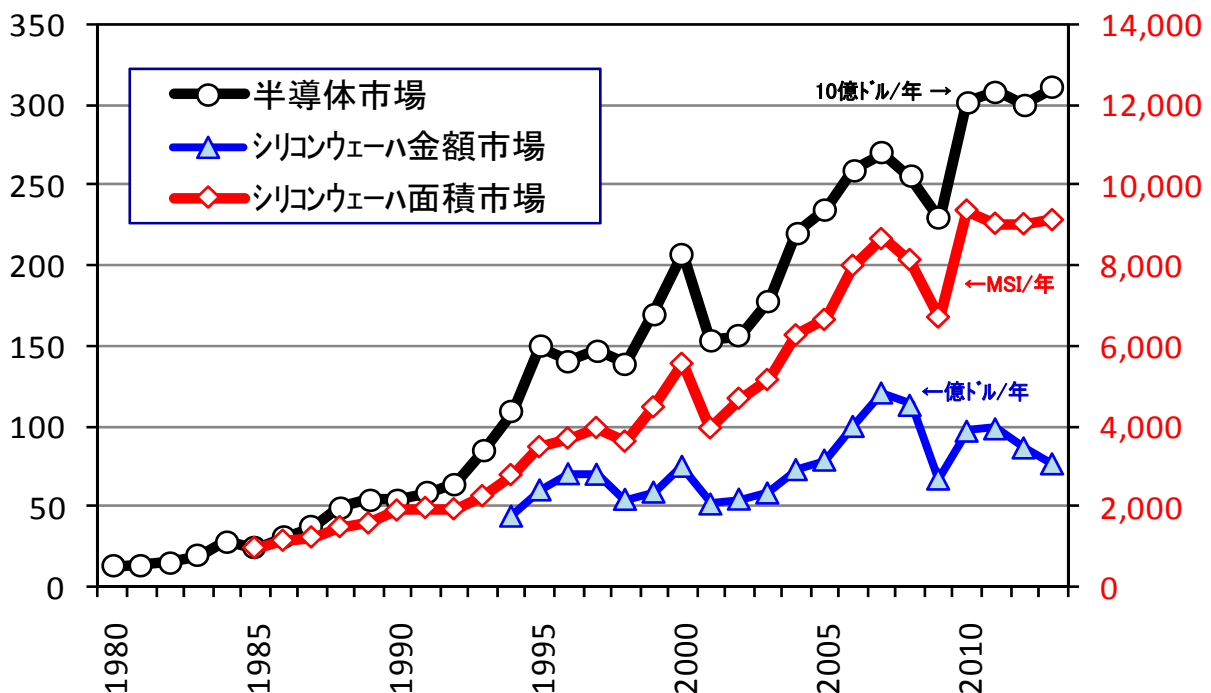
	ハイエンド	ローエンド
AP	4コア	2→4コア
NAND	16-32GB	4-8GB
DRAM	1-2GB	512MB-1GB
画面	4.5-5インチ	←

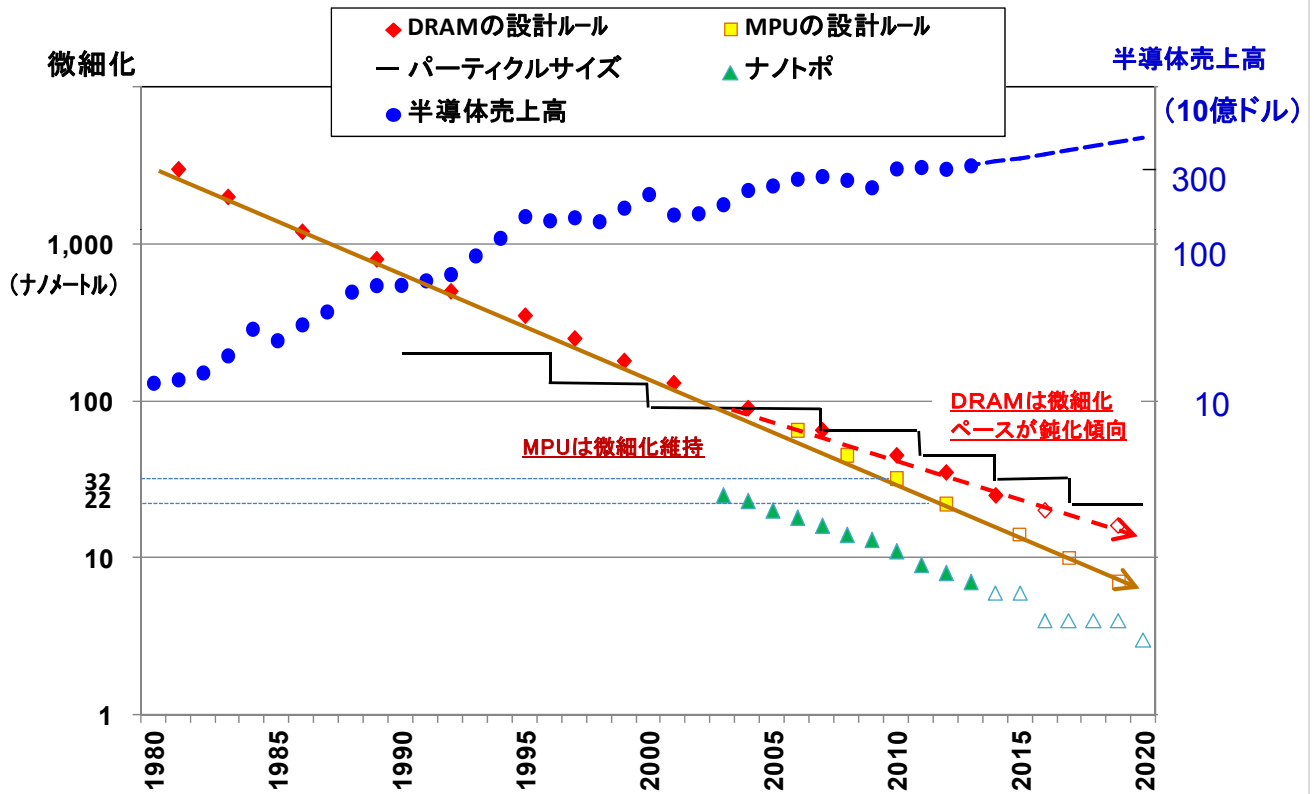
機能は収斂されシリコンウェーハは販売台数に比例し伸張

半導体市場とシリコンウェーハ市場

半導体市場 (10億ドル/年)
シリコンウェーハ金額(億ドル/年)

シリコンウェーハ市場
(百万平方インチ/年)





For All Innovation

微細化動向

■ 微細パターンニング技術が困難になりつつある

① DRAM

- ・セルキャパシタの形成が困難になり限界に近づいている

② NAND

- ・2D-NANDは電氣的干渉のため1Y~1Z(約15 nm)で限界
- ・3D-NANDによる高集積化が進行

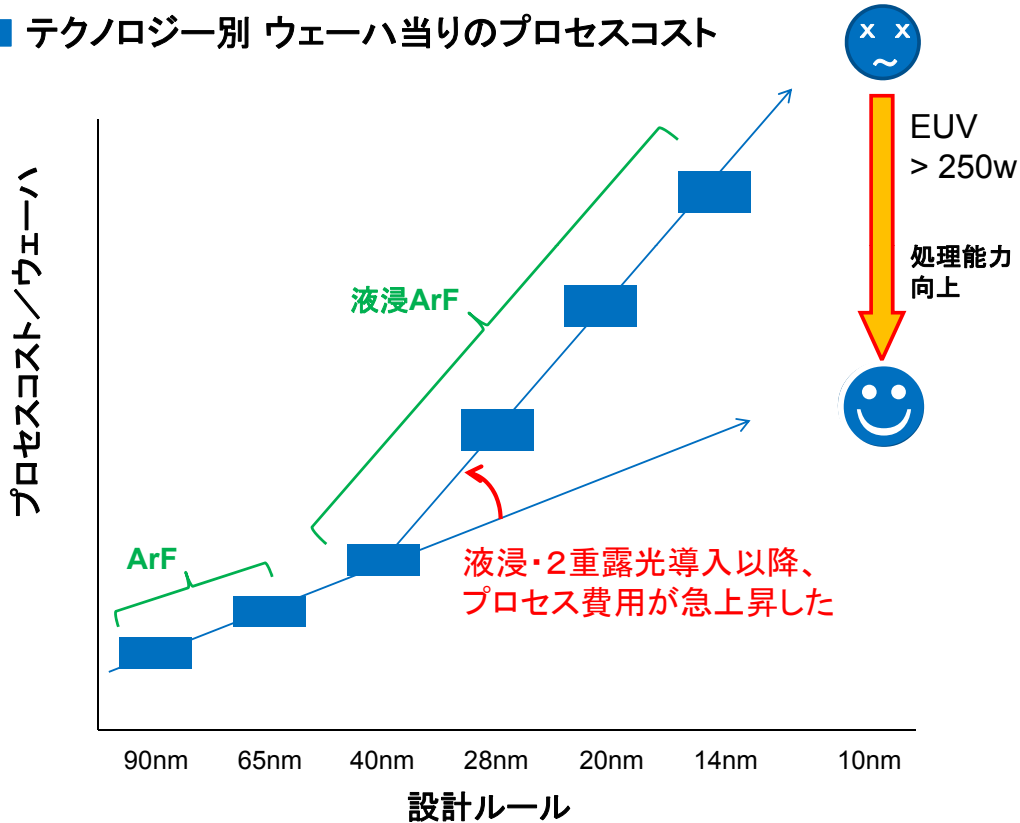
③ MPU

- ・微細化と共にリーク電流の抑制が困難になりつつある
- ・FinFET構造によりリーク電流問題を抑制し高機能化を実現

For All Innovation

微細パターンニングの課題 = プロセスコストの上昇とEUV =

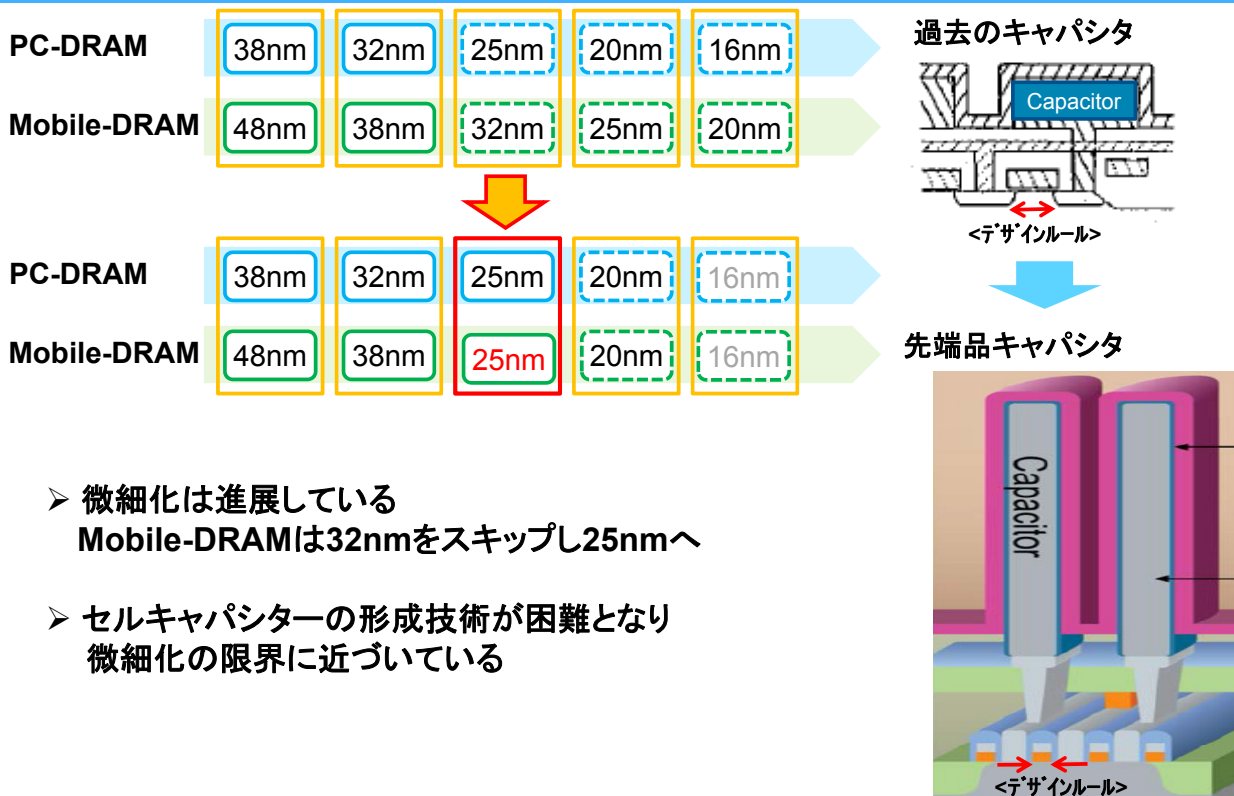
■ テクノロジー別 ウェーハ当りのプロセスコスト



For All Innovation

出典: 各種情報をもとにSUMCO作成

DRAM: 微細化



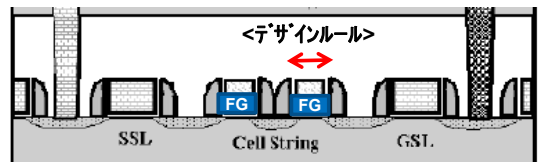
For All Innovation

■ FG-NAND の歩み

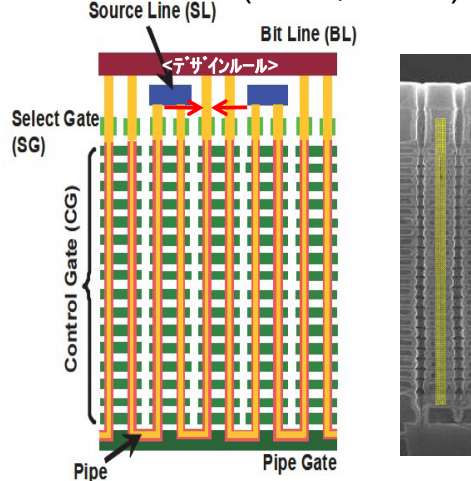


For All Innovation

■ 2D-NAND



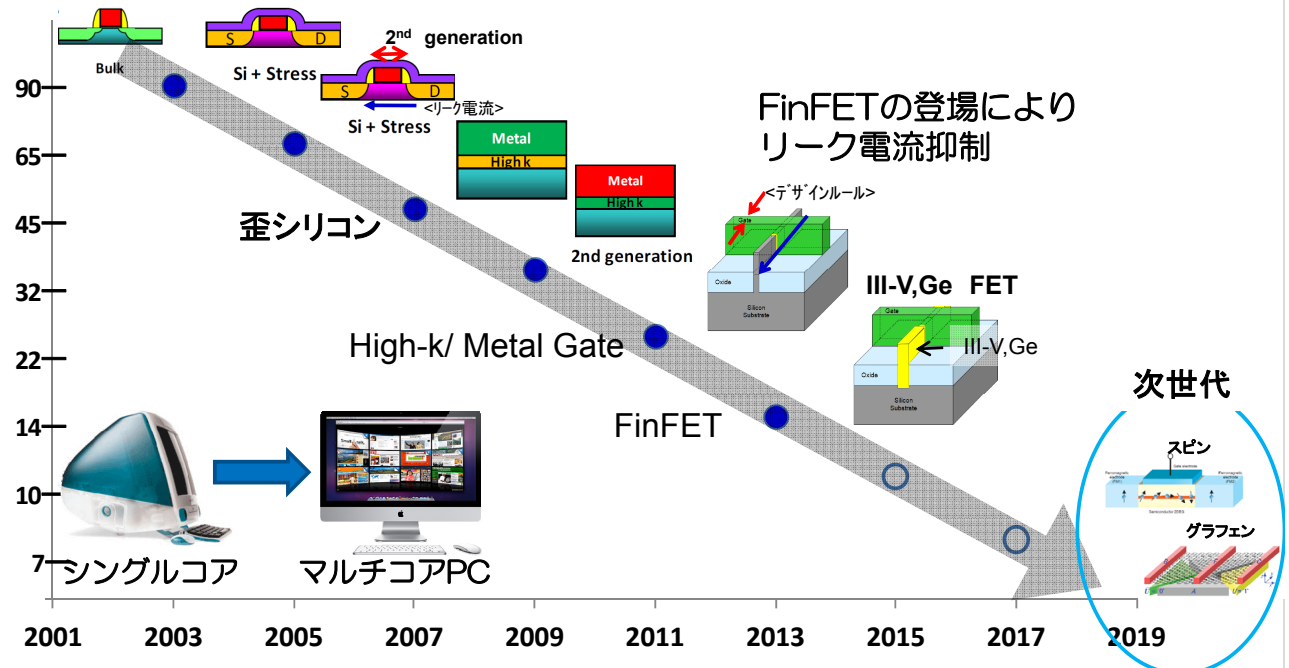
■ 3D-NAND (BiCS, TCAT)



出典: 各種資料よりSUMCO作成

MPUの微細化

設計ルール (nm)



For All Innovation

出典: 2011ITRS EXECUTIVE SUMMARYを参考にSUMCO作成

- ✓ 微細化はEUV開発の遅延、代替プロセスのコスト高の両面でハードルが高くなってきている
- ✓ 微細化の進展により機能当りの単価が下がり、大容量・高機能化が進んできた
- ✓ 微細化がスローダウンすれば、機能増大には面積の増大が必要となりウェーハの需要増となる
- ✓ いずれの方向に進んでも、ウェーハに対する技術要求はますます高くなり、顧客と一体となって開発できる相互信頼関係の構築が重要

2013年度 第3四半期決算概要(連結)

取締役副社長 瀧井 道治

1. 2013年度 第3四半期業績(連結)

■ 売上高 1,473億円、営業利益 155億円、純利益 3億円

(金額単位: 億円)	FY2012 3Q累計	FY2013				計	増減
		1Q	2Q	3Q			
売上高	1,602	466	540	467	1,473	▲129	
営業利益	96	41	77	37	155	+59	
営業外損益	▲20	▲29	▲52	▲18	▲99	▲79	
経常利益	76	12	25	19	56	▲20	
特別損益	(注1) ▲58	▲1	▲20	▲5	(注2) ▲26	+32	
税金費用等	▲17	▲6	▲9	▲12	▲27	▲10	
純利益	1	5	▲4	2	3	+2	
設備投資額(検収ベース)	100	15	27	17	59	▲41	
減価償却費	239	55	56	56	167	▲72	
EBITDA (注3)	345	99	137	97	333	▲12	
為替レート(円/US\$)	79.4	92.7	99.2	98.2	96.5	+17.1	

(注1) ソーラー用シリコンウェーハ事業に係る受取補償金及び事業構造改善費用

(注2) 事業構造改善費用(生野工場・伊万里150mm工場閉鎖に伴う退職特別加算金等)

(注3) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

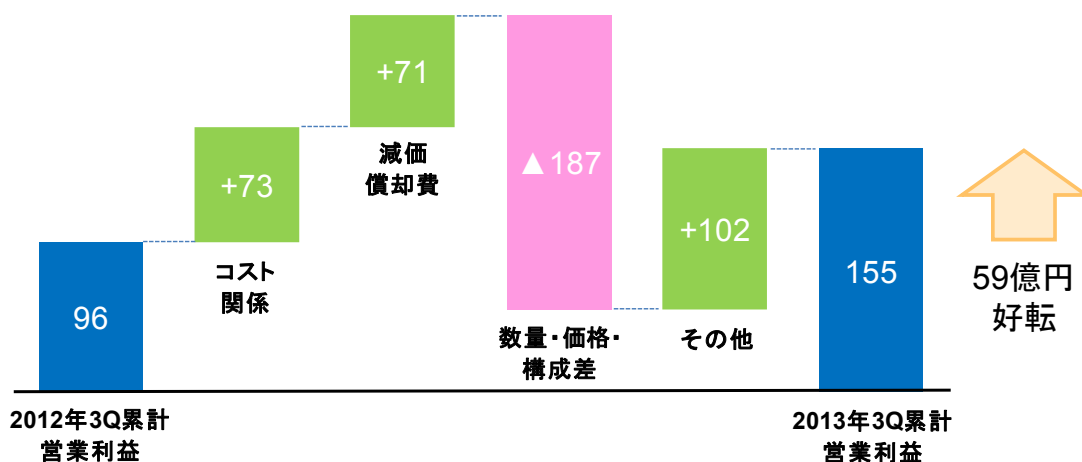
For All Innovation

2-1. 営業利益増減分析 (2012年度3Q累計→2013年度3Q累計)

■ 2013年3Q累計は対前年同期で減収増益

(金額単位: 億円)	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	増減
売上高	1,602	1,473	▲129
営業利益	96	155	+59
為替(円/US\$)	79.4	96.5	+17.1

【営業利益増減分析】



For All Innovation

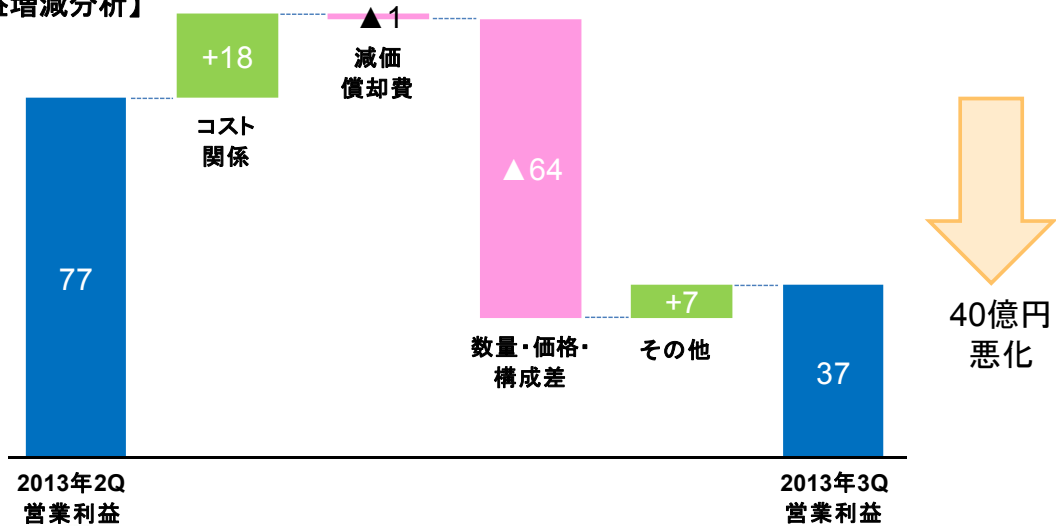
2-2. 営業利益増減分析

(2013年度2Q実績→2013年度3Q実績)

■ 2013年度3Qは対前Qで減収減益

(金額単位: 億円)	2013年度 2Q実績	2013年度 3Q実績	増減
売上高	540	467	▲73
営業利益	77	37	▲40
為替(円/US\$)	99.2	98.2	▲1.0

【営業利益増減分析】



3. バランス・シート(連結)

■ 対前期末、総資産 ▲188億円、負債 ▲282億円

(金額単位: 億円)	2013年 1月末	2013年 10月末	増減
現預金等	721	448	▲273
棚卸資産	1,130	1,366	+236
有形・無形固定資産	1,972	1,898	▲74
繰延税金資産	60	58	▲2
その他	1,050	975	▲75
総資産	4,933	4,745	▲188
有利子負債	2,399	2,275	▲124
その他	731	573	▲158
負債	3,130	2,848	▲282
資本金	1,366	1,366	-
資本剰余金	156	156	-
利益剰余金	168	155	▲13
その他	113	220	+107
純資産	1,803	1,897	+94
自己資本比率	32.2%	34.7%	+2.5%
1株当たり純資産額(円)	436.9	461.9	+25.0
D/E レシオ(グロス)	1.5	1.4	▲0.1
D/E レシオ(ネット)	1.1	1.1	0.0

4. キャッシュ・フロー(連結)

■ 営業CF: ▲56億円、投資CF: ▲71億円、フリー・キャッシュ・フロー: ▲127億円

(金額単位: 億円)		2013年度 3Q累計
	税引前純利益	30
	減価償却費	167
	小計	197
	棚卸資産増減	▲192
	その他	▲61
	営業キャッシュフロー	▲56
	設備投資(検収ベース)	▲59
	設備債務増減他	▲12
	投資キャッシュフロー	▲71
	フリーキャッシュフロー	▲127

2013年度 通期業績予想(連結)

1. 2013年度 通期業績予想(連結)

■ 3Qの調整局面が想定より若干緩やかであったため、業績予想を修正

(金額単位: 億円)	2013年度従来予想			2013年度修正予想			増減
	上期(実) (6ヶ月)	下期 (5ヶ月)	計 (11ヶ月)	上期(実) (6ヶ月)	下期 (5ヶ月)	計 (11ヶ月)	
売上高	1,006	794	1,800	1,006	824	1,830	+30
営業利益	118	32	150	118	52	170	+20
営業外損益	▲81	▲19	▲100	▲81	▲29	▲110	▲10
経常利益	37	13	50	37	23	60	+10
特別損益 (注1)	▲21	▲6	▲27	▲21	▲6	▲27	0
税金費用等	▲15	▲3	▲18	▲15	▲13	▲28	▲10
純利益	1	4	5	1	4	5	0
設備投資額(検収ベース)	42	43	85	42	43	85	0
減価償却費	111	99	210	111	99	210	0
EBITDA (注2)	236	139	375	236	159	395	+20
為替レート(円/US\$)	95.9	95.0	95.5	95.9	98.3	97.0	+1.5

(注1) 事業構造改善費用(退職特別加算金等)

(注2) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

For All Innovation

参考資料

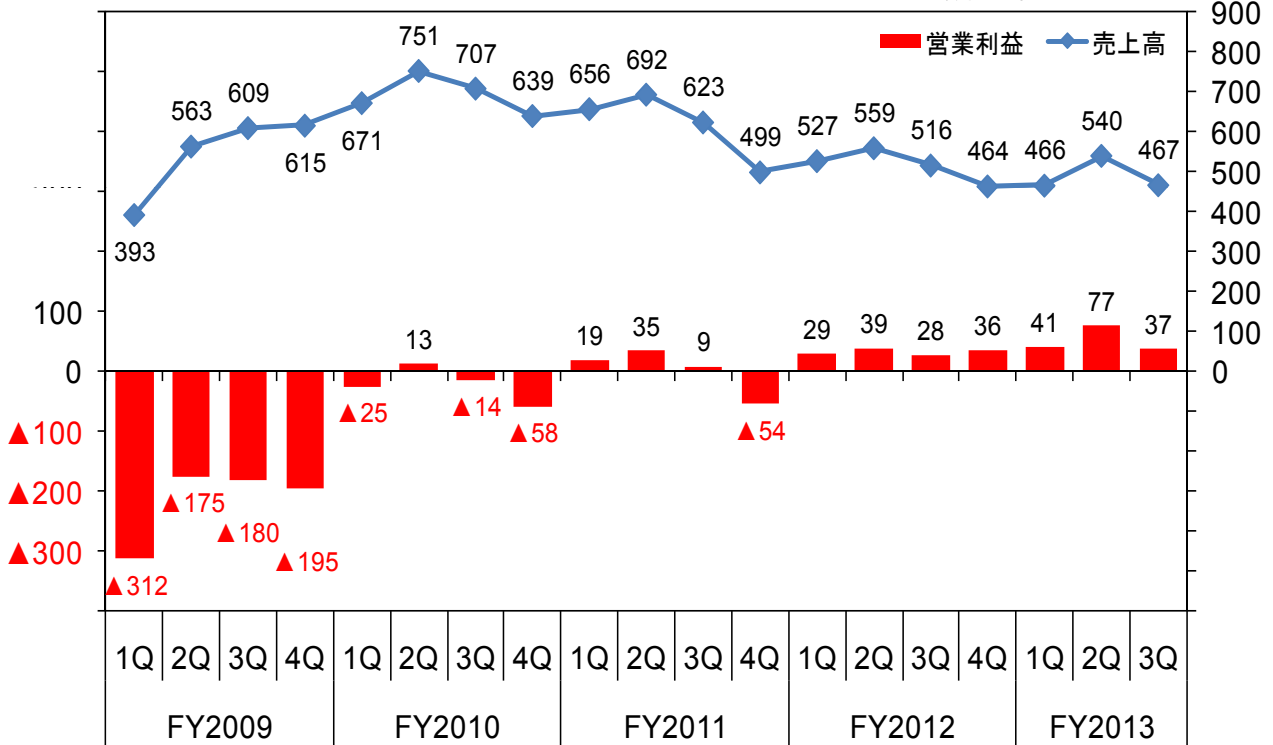
参考資料: 四半期業績推移(連結)



(営業利益)

※金額単位: 億円

(売上高)



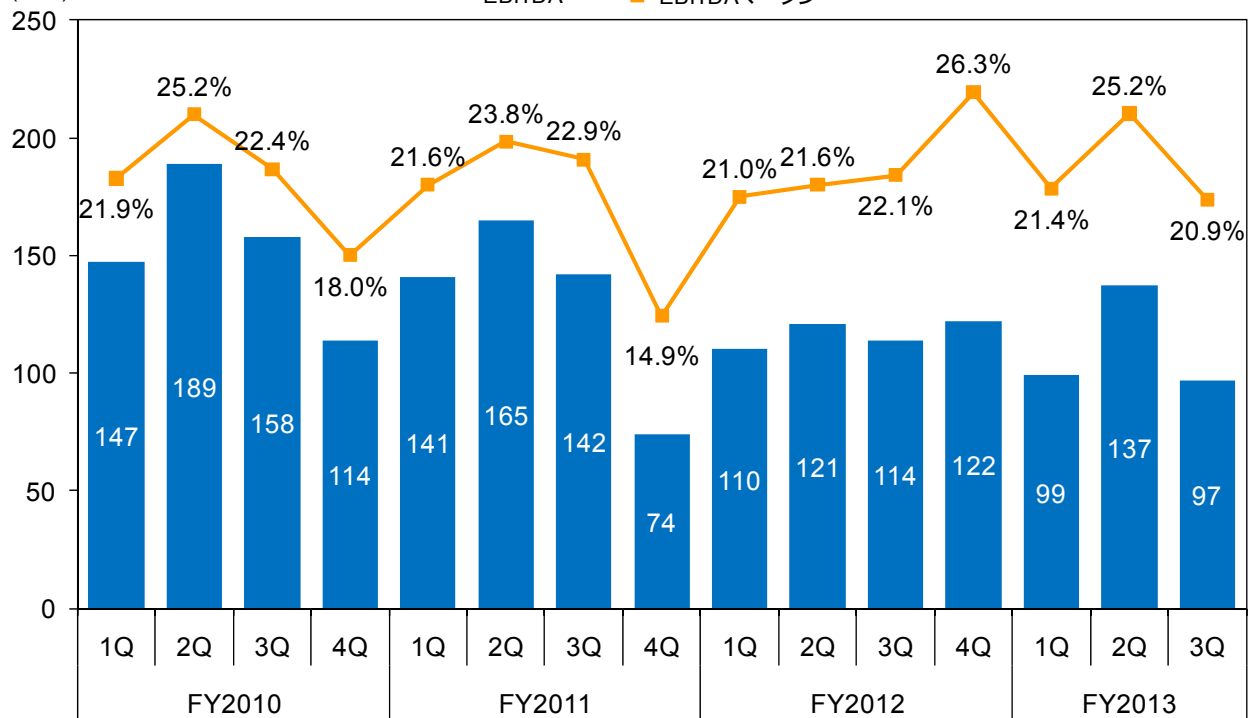
For All Innovation

参考資料: EBITDA(償却前営業利益)



(億円)

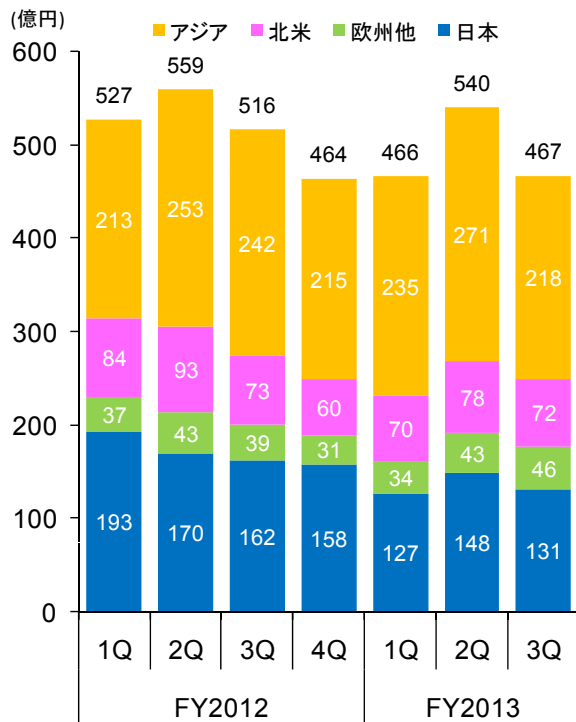
■ EBITDA ■ EBITDAマージン



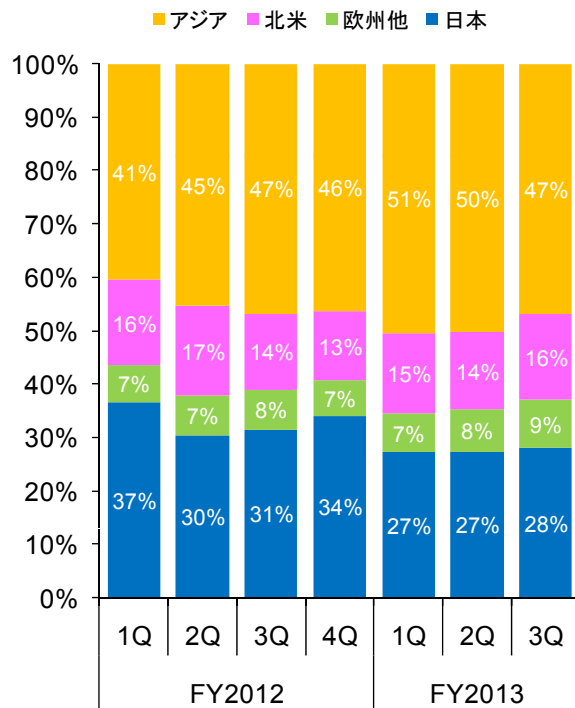
(注) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

For All Innovation

■ 地域別売上高



■ 地域別売上比率



For All Innovation



URL <http://www.sumcosi.com/>

For All Innovation